

## 後期の授業形態について

【ご意見・ご要望】（投稿日：2020年8月8日）

オンライン、オフライン並行型での検討が進められている旨、諸所で拝見しております。

私としてはリスクを最小化した形でオフラインが少しずつ再開されることを嬉しく思っております。ですが、全員の毎日の検温など、徹底した対策は前提であると思いません。

ですが、まだオンラインを活用する可能性があると言うことで、前期のオンライン授業で感じた問題点について指摘させていただきます。

何よりも、心身の健康に大きな影響がありました。視力も落ちましたし、おそらくずっと同じ姿勢を取り続けたことが原因とされるめまい症(BPPV)にもなりました。こちらは軽症だったため医師との相談のもと経過観察となりましたが、私の周りでも、かなり健康に支障をきたしていると言う話を聞きます。

しかし、このような状況で、従来のような大学生活に戻すことは、難しいと重々承知しています。

そこで、2点提案させていただきたいと思います。

まず、課題の中で、オフラインで行えるものの割合をふやすようにして頂きたいです。リアルタイムの授業では質疑応答も活発に行われており、こちらについてはオンライン授業のメリットも感じていますが、課題も全てオンラインだと、パソコンへ向かっている時間が大変長くなってしまいます。

ある教科では、教科書で予習したものを、ノートにまとめ、スマホやスキャナーでスキャンして提出する課題や、レポートがありましたが、これは身体的な負担がパソコンを使ったものに比べ、ものすごく軽く感じました。

次に、ズームを用いたリアルタイム授業をしてくださっている先生の中に、途中で5～10分の休憩を入れてくださる先生が何人かおられました。体への影響を考えると、少し画面から目を外し、イヤホンを外すように指示しておられた先生をいらっしゃったのですが、この学期を通じて、休憩がある場合とない場合では、体への負担が大きく異なると痛感しました。

まだ学校側でも話し合われている課題は多いとは思いますが、後期の授業では、これ以上心身に害を被る学生が増えないような方法で、授業が行われることを願っております。

少しでも参考にさせていただければ幸いです。

【回答】（回答日：2020年8月19日）

（回答者：教育推進・学生支援部教務企画課）

オンライン授業に関する御意見ありがとうございます。

特に、オンライン授業の負担が大きく体調に影響を及ぼしているとのこと報告には感謝します。

オンライン授業については、6月に学生のみなさんへアンケートを実施し、その結果を各学部・研究科にフィードバックして授業の改善に取り組んでいます。今回いただいた意見も学部に共有し、対応について検討します。